

お互いさま

otagaaisama

恵みあい、助けあう

理事長より 新年のご挨拶

クローズアップ

ケアホーム西大井こうほうえん

介護と歯科が連携し口腔ケアに注力

キラキラ働き人

アザレアコートこうほうえん

施設長 安達 淳さん

ケアハウスなんぶ幸朋苑

施設長 影山智士さん

2023 January

季刊誌(年4回発行)

NO. 07



社会福祉法人 二aringen



New Year Greetings
2023

新年のご挨拶

2023年の新春を迎えるにあたり、
所感の一端を申し述べ、
ご挨拶に変えさせていただきます。

困難な時代だからこそ
ブレることなく
新たな幕開けを目指す

社会福祉法人こうほうえん
理事長 廣江 晃



当たり前品質を守り 生産性向上と両立

2022年はコロナ禍3年目にして、もともとの影響を感じた1年でした。行動制限が緩和されたことで感染が拡大し、施設のご利用者や職員にもその波が押し寄せました。デイサービスやショートステイの臨時休業などの対応、さらに物価高騰の影響もあり舵取りの難しい1年だったと率直に感じています。

一方で、マイナス面ばかりではありませんでした。これまでストップしていた地域のコミュニティが復活しつつありますし、介護業界のICT活用も加速しました。こうほうえんでは介護現場の日々の気づきをデータ化する「MIMOTE（ミモテ）」というアプリを大学や研究所と共同開発し、介護現場に導入しています。職員はデータをもとにそれぞれのご利用者に合ったケアを検討しています。MIMOTEが現場に浸透したことで、職員の負担軽減や介護の質の向上を現場レベルで実感しています。

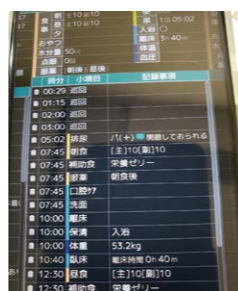
また効率化や生産性の向上と合わせて、ミスの抑制も追求し続けるべき課題です。2022年度は「当たり前品質を意識しよう」という合言葉のもと、人的ミスやケアレスミスをいかに減らすか、現場の職員たちも改善策を議論しています。

職員を大切に ご利用者や地域に還元

職員の負担を軽くして大切にすることは、質の高いサービスの提供へとつながります。私たちは「こうほうえん健康経営宣言」のもと健康経営を推進し、職員とご家族の心身の健康を第一に考え、健康づくりや働きやすい環境の整備に取り組んでいます。「互恵互助」の精神を職員一人ひとりが大切にし、ご利用者や地域の皆さまと協力して真の共生社会の実現を目指しています。それは日常の小さなことから構いません。例えば職員に対しては、それぞれが暮らす地域で、コミュニティの一員として自治会に参加するなど社会の中での役割を持つてほしいと伝えています。



ケア会議などデータを用いた議論に活用



MIMOTEのスマホ端末画面

地域共生社会を目指す上で、私たちは「在宅の限界点を高める」というテーマに挑戦しています。住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを送るために、まずは健康寿命と実寿命の差を縮めることが大切であり、今後もフレイル予防を推進していきたいです。並行して、在宅で施設と同様のサービスを提供できるシステムの構築や、警備会社やスーパーマーケットなどの他の業界との連携によりサービスの充実を図りたいと考えています。

情報収集を怠らず、改定の方向性をいち早くキャッチして、今後の運営方針を決定したいと考えていますが、もちろん準備以外しないというわけではありません。新たに米子市旗ヶ崎にグループホームのオープンを予定していますし、他業種や社会福祉法人同士で連携し、人材の交流を促進したいと思っています。また、人材確保も重要であり、外国人を含む優秀な人材を受け入れていきます。

コロナ禍が長期化していますが、近い将来、この状況を脱却しコミュニティを再構築する時が訪れるでしょう。その時に孤立する人をつくらず、人と人とのつながりを持ち続けられるように社会福祉法人としての使命を果たしてまいります。

「こうほうえん 健康経営宣言」

こうほうえんは、職員とその家族の心身の健康がもっとも重要であると考え、健康保持・増進活動に対して積極的な支援と組織的な健康づくりの推進に取り組みます。また、利用者、地域住民と力を合わせ、健康で活力にあふれる「地域共生社会」の実現を目指します。

2022年4月1日

社会福祉法人 こうほうえん

同時改定スタートに 向けた入念な備えを

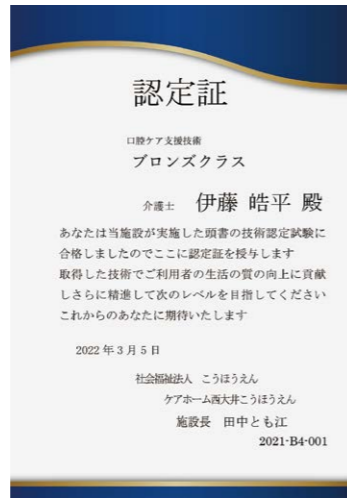
2024年度には6年ぶりの介護報酬・診療報酬同時改定を控えており、今年夜明け前の準備の年と言えます。



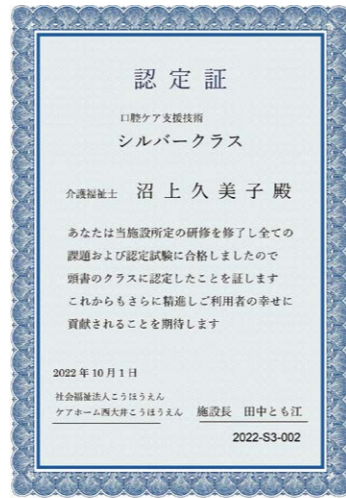
第12回オールジャパンケアコンテスト会場の様子(板橋区立小豆沢体育館)



「介護付きホーム研究サミット2022」表彰式。左から3人目が奈良歯科衛生士、4人目が田中施設長です。長年の口腔ケアの取り組みと成果を発表し、その内容は動画でも公開され、高い関心を集めました。



「ケアホーム西大井こうほうえん」独自の口腔ケア研修を行い、職員がまんべんなく受講できるようにシフトも調整しています。段位制度を設けて、受講者の習熟度に応じてブロンズ、シルバー、ゴールドの段位を授与しています。



介護と歯科が連携し 口腔ケアに注力



「ケアホーム西大井こうほうえん」は、JR横須賀線「西大井駅」から徒歩5分の好立地にあります。都心部にありながら広々とした空間があり、アットホームな環境です。品川区にお住まいの要介護・要支援の認定を受けている60歳以上の方が、住み慣れた環境で生活を続けられるようサポートしています。

改善、誤嚥性肺炎の予防、認知症予防など全身の健康にも関与します」とその重要性を語ります。「介護士も口腔ケアの大切さは理解していますが、実践は難しく歯科に任せられているケースが多いです」と続くのは、介護福祉士の沼上さん。同施設では奈良さんの指導のもと口腔ケア段位制度を設け、口腔アセスメント力と技術力の向上に努めています。

利用者との関係性の構築が重要

「人が生まれた瞬間に最初にコミュニケーションをとるのが口。感覚が集中する器官であり、人に見せることに抵抗がある人もいます」と田中施設長。認知症の人で当初は口を開けない、嘔むなどの拒絶反応を示す人もいますが、1日1回のケアを目指して全体で連携。ケアの技術を磨き、関係性を築くことで口を開けてくれるようになると言います。沼上さんは「歯茎から血が出なくなるなど、口腔内の状態が改善されるとご本人も喜んで前向きに取り組んでくれます」とご利用者の反応を語ります。

口腔ケアは専門家に任せている施設が多いため、沼上さんは「介護士も口腔ケアをしていんだ」と積極的に技術を学び、介護士ならではの視点も生かしています。「例えば食事が減少していたら口腔内のトラブルを予想したり、磨け

施設紹介

ケアホーム西大井こうほうえん

- 住所 東京都品川区西大井2-5-21 (ヘルスケアタウンにしおおい内)
- 電話 03-5718-1331
- 定員 48名(要支援、要介護者と認められた60歳以上の方)
- 共用設備 食堂・一般浴室・特殊浴室・車椅子対応トイレ



介護現場に口腔ケアを導入

東京都品川区にある「ケアホーム西大井こうほうえん」は、複合施設「ヘルスケアタウンにしおおい」の中にあるサービス付き高齢者向け住宅です。2009年に元品川区立原小学校を改修して事業がスタートし、1階は「いきいきセンター」(老人福祉センター)と「キッズタウンにしおおい」(認可保育園)、2・3階はケア

お話を聞いた人



介護福祉士 沼上久美子さん
介護福祉士歴は7年。多職種連携の現場で働きたいと2019年に入職。口腔ケアにより自信を持ちたいと技術を磨く。

施設長 田中とも江さん
2009年「ケアホーム西大井こうほうえん」立ち上げより施設長を務め、離職のない職場、向上意欲のある職場づくりに努める。

歯科衛生士 奈良とみ子さん
特別養護老人ホームなどで口腔衛生ケアを行い、2015年、田中施設長の呼びかけで入職。研修や歯科との連携役を担う。

なくなってくる」と認知機能の低下を考えたります」と沼上さん。指導する奈良さんも「口腔アセスメントをケアプランに落とし込めるのは介護士ならではの教えられることも多々あると言います。

業界や地域への普及を目指す

独自の研修では、①歯磨きと専門知識、②機能的口腔ケア、③口腔ケアプランを指導し、ブロンズ、シルバー、ゴールドの段位制度を設置。アセスメントやケアプランは半年に1回見直ししています。「口の中の病気を予防するには、日常のケアができていくことが大前提。ここでは介護士も職員も前向きに取り組んでくれて、私のやりがいにもなっています」と奈良さんは喜びます。

昨春秋にはプロジェクトの継続と業界への普及を目指し、「介護付きホーム研究サミット2022」で取り組みを発表し優秀賞を獲得。田中施設長は「多くの方が評価してくださり、反響も大きかったです」と業界内での関心の高さと手応えを感じています。今後も介護士と歯科衛生士が連携を取りながら、口腔ケアができる人材を育成し、地域に対して健康なうちから定期検診や自分でできる口腔ケアを習慣化することで、将来の健康トラブルの予防に貢献していくことを目指しています。

影山さんが働く/
なんぶ幸朋苑とは?

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、ケアハウス、デイサービス、通所リハビリ、訪問介護事業所、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、訪問リハビリを併設する大型の高齢者総合福祉施設です。近隣にはこうほうえんが運営するデイハウスやグループホーム、地域包括支援センターなどがあり、お互いに連携しています。



影山 智士さん

プロフィール



ケアハウスなんぶ幸朋苑 施設長

影山 智士さん

介護の専門学校を卒業後、1993年に入職。「現場を知っているからこそ、職員の気持ちわかります」と話しやすい雰囲気づくりや聞く姿勢を心がけている。

学びを財産に、
恩返しの気持ちで施設を運営

幅広い経験を重ね、施設長へ
こうほうえんには1993年に介護士として入職し、その後相談員を務め、米子や境港、東京の事業所で経験を積んできました。2022年7月に施設長として赴任しましたが、これまでの上司やいろいろな事業所での学びが財産になつて今に活かしていると感じます。入職

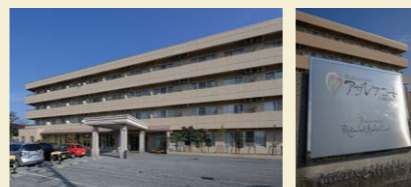
広大な複合施設の窓口役
「なんぶ幸朋苑」はこうほうえんの事業所の中でも2番目の規模の大きさを持つ複合施設です。入所、通所、在宅の各サービスを充実した内容で提供しており、その中で、私が働く「ケアハウスなんぶ幸朋苑」には、自立した生活が難しい60歳以上の方が50名生活しています。施設長の仕事は、施設の運営・管理でありデスクワークがメインです。普段接するのは職員や外部の方になるので、それでも1日に最低1回は施設内を回ってご利用者に声をかけ、皆さまの声を拾うことを心がけています。また、なんぶ幸朋苑の全体を統括する総合施設長のもと、法人本部や各部署との窓口役、新規取り組みの旗振り役なども担っています。広大な建物の中にさまざまな部署がありますから、スムーズな連携や情報共有のためにも全体を見渡せる視野の広さが必要だと日々感じています。



して30年を迎えますが、異動のたびに新しい経験をさせてもらい、本当にあつという間でした。人にも恵まれて、恩返しの気持ちで日々の仕事に取り組んでいます。今の職場のスタッフたちは、長く勤めていてベテランぞろいですが、なんぶエリアが初めての私にとっては頼りになる仲間たちです。思ったことを口に出せる風通しの良さがありますから、意見を聞く姿勢を持ち、前向きな言葉でモチベーションをアップできるように職場をつくらせていきたいです。また、コロナ以前は地域のボランティアの方との交流も盛んで、外に出かけることも多かったので、収束後はそういった活動を復活できればと考えています。地域の皆様も、困っていることがあれば気軽に相談していただけたらうれしいです。

安達さんが働く/
アザレアコート
こうほうえんとは?

建物の1階は「街並みのエリア」。レストラン、美容室、花屋、リハビリセンター、健康管理室を併設し、法人本部もあります。2~4階が「住まいのエリア」のサービス付き高齢者向け住宅です。定員は特定40室、賃貸62室あり、介護が必要な場合はデイサービスや24時間介護サービスなどの利用が可能です。



安達 淳さん

プロフィール



アザレアコートこうほうえん 施設長

安達 淳さん

大学卒業後、1996年に新卒で入職。「社会福祉法人として、各サービスの機能を発揮し、地域資源として活用してもらえる施設にしたい」と地域貢献を目指す。

働きがいのある職場をつくり、
質の高いサービスを

全体を俯瞰してこまめに連携
米子市の「アザレアコートこうほうえん」は、サービス付き高齢者向け住宅、訪問介護、デイサービス、レストランが入った複合施設です。2022年7月に施設長として着任しましたが、複合施設の管理は初めてであり、全体を俯瞰する視点を持つ必要性を感じています。こうほうえんには1996年に入職し、米子市石井の「なんぶ幸朋苑」の介護士からスタートしました。その後、相談員や小規模多機能型居宅介護の立ち上げと運営、生活支援係長などを務め、いくつかの事業所で一通りのことを経験させてもらいましたが、レストランとサービス付き高齢者向け住宅は今回が初めてで多くのことを勉強させてもらっています。施設長としては、各サービスの責任者とこまめに連携し、施設全体の運営・管理を行っていますが、まだ就任して日が浅いので、今はとにかく目の前の仕事を一つひとつ一生懸命取り組むばかりです。**根拠を説明し、納得できる業務を**他の事業所もそうなのですが、アザレアコートは職員の雰囲気明るく仕事しやすいです。何でも相談できる同期もいますし、また同じ建物内に法人本部があり、連携がとりやすく、最新の情報もすぐに入手できるメリット



も感じています。職員の皆さんとは「質の高いサービスの提供」「働きがいのある環境」という運営目標のもと、高いモチベーションで仕事ができるように働きかけています。運営目標の実現には、職員がサービスの意味を理解し、納得して業務をすることが重要です。きちんと根拠を説明し、また各事業所の問題も一緒に解決をして質の高いサービスの提供に努めています。ご利用者の皆さんとは、なかなか顔を合わせる機会がないのですが「施設長がどんな人間か」という点は気がかかると思います。着任の際に一人ずつ挨拶をして回りましたが、行事やイベントにも顔を出して覚えていただけたように心がけています。今後は、職員にとって働きがいのある職場をつくり、地域にとっては拠り所になるような施設にしていきたいです。

「キッズタウンぱれっと」(北東京エリア)1月4日オープン

「キッズタウンぱれっと」は、児童発達支援と放課後等デイサービスの二つを合わせた多機能型事業所で、場所はヘルスケアタウンうきまの2階です。対象者は、児童発達支援は小学校就学前の障害児(特に4・5歳児中心に)、放課後等デイサービスは学校(幼稚園および大学を除く)に就学している障害児(特に小学生を中心に)です。境界域児童のお子さん、軽度の知的障害児、コミュニケーションや運動・自己管理が苦手なお子さんの療育を行っています。児童発達支援では、就学に向けた、基礎的な運動や机上活動、板書きしや雑巾がけ等、小学校生活に必要な力を身に付けていきます。

放課後等デイサービスでは、将来の自立に向け、社会の中で他者との関係を築く力、一緒に生活を営むために必要な力「ソーシャルスキル」の向上を目指します。

「保育園から小学校卒業までを一貫し、お子さんの成長を側で見守り療育していく」をコンセプトに、小さな「できた」を重ねて大きな力となるよう、お手伝いしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

法人ホームページ、インスタグラムを開設しております。ぜひ閲覧並びにフォローしてください!療育室や療育の様子、情報を都度アップしていきますのでよろしくお願いいたします。

「周りに気になる子がいるから療育を見てみたい」「療育の仕事に興味がある!」という方の見学も大歓迎ですので、いつでもご連絡ください。

キッズタウンぱれっと



児童発達支援・放課後等デイサービス
キッズタウンぱれっと

令和5年1月4日(水)オープン

募集定員 1日あたり10名

場 所 東京都北区浮間5-13-1
(ヘルスケアタウンうきま2階)

お問合せ TEL.03-5914-1340
(キッズタウンぱれっと開設準備室・担当 関様)



寄附者 一覧

※令和4年9月～11月に寄附をいただいた皆さま

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- 株式会社トーカイ中国支店様 / 50,000円
 - 大同警備保障有限会社様 / 50,000円
 - 小村壽彦様 / 1,000,000円
 - 有限会社ワイビーエム様 / 100,000円
 - 岡實道様 / 50,000円
 - その他 / 540,000円
 - 有限会社パイプフレンド様 / 50,000円
 - 堀俊俊介様 / 100,000円
- 寄付金合計額: 1,940,000円**

<北東京エリア>

- 毛利様(園児保護者) / 子ども用マスク
- 卒園児様 / 玩具

<西東京エリア>

- 個人様 / 1万円、かけはしまつり

ボランティア 一覧

※令和4年9月～11月にボランティアにご参加いただいた皆さま

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます。

<なんぶエリア>

- カフェの準備、お茶出し、片付け…仲田みどり様、乗田千恵様、勝部尚子様、足羽恵美子様、斉木ルミ子様、石田美和子様、西山直子様、梅木恭美様、尾原稔枝様、佐藤陽子様、柴田千恵様
- 軽作業、傾聴…藤山朝子様
- 交流活動手伝い…石田喜和子様、乗田千恵様、西山直子様、勝部尚子様

<北東京エリア>

- 保育手伝い…東京家政大学2名、東洋大学4名
- 保育の手伝い、保育体験…東京家政大学短期大学部1名、目白大学1名
- Bookswapの手伝い…第四岩淵岩淵小学校3年生3名
- 療育補助…卒所児童保護者4名

<西東京エリア>

- 傾聴、軽作業…1名
- 傾聴、軽作業、歌…4名
- 植栽活動…個人、上二中学校、地域他102名
- 植栽活動、TEAMKAIGO…個人、板橋区ボランティアセンター20名
- 軽作業…3名
- 保育補助…豊南高等学校3名

<南東京エリア>

- 保育体験…伊藤学園2名



法人本部事務局

〒683-0853
鳥取県米子市両三柳1400
TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113
フリーダイヤル:0120-418-658
E-mail:welfare@kohoen.jp

東京事業本部

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場4-3-7KSビル203号室
TEL:03-3365-1331 FAX:03-3365-1339



2014年度日本経営品質賞大規模部門
(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015
(品質マネジメントシステムの国際規格)を
認証取得しています



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
おもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは
社会福祉法人として初めて
ハイサービス日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索
<https://www.kohoen.jp>